

第 1 号議案

令和 3 年度事業報告書について

令和 4 年度定時総会資料

第 1 号議案 令和 3 年度事業報告書について

令和 3 年度

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 3 1 日

事 業 報 告 書 (案)

一般社団法人 日本木材輸出振興協会

目 次

第1	木材輸出状況について.....	1
第2	令和3年度に実施した事業	1
1.	高付加価値木材製品輸出促進事業.....	1
2.	高付加価値木材輸出促進緊急対策事業.....	14
3.	日本産農林水産物・食品海外販路開拓緊急支援事業	23
4.	分野・テーマ別海外販路開拓支援事業.....	25
5.	分野・テーマ別の海外販路開拓等への支援強化事業	25
6.	輸出先国の規格・基準等に対応した技術開発等支援事業	26
7.	岐阜県委託業務（県産材輸出オンライン商談会運営業務委託）	27
8.	米国マーケット調査受託事業（秋田県木材産業協同組合連合会業務委託） ..	29
第3	総務に関する事項.....	30
1.	理事会について	30
2.	定時総会について.....	30

第1 木材輸出状況について

令和3年の木材輸出額は475億円（対前年比33.0%増）となり、平成以来で最も大きな輸出額となった。

国別では、中国が221億円（前年比29.8%増、シェア46.6%）、フィリピンが103億円（同58.3%増、同21.6%）、米国が52億円（同37.2%増、同11.0%）、韓国が37億円（同23.8%増、同7.9%）、台湾が24億円（同21.3%増、同5.2%）と、この5カ国・地域で全体の92%を占めている。

主な品目別では、丸太が前年比28.9%増の210億円（シェアが前年より1.4ポイント減の44.4%）、製材品・加工材が同46.9%増の104億円（2.1ポイント増の21.8%）、合板は同35.4%増の78億円（0.2ポイント増の16.4%）と大幅に増加した。また、木製家具及び木製腰掛は54億円で、前年比11.0%増加した。

さらに、令和4年の第1四半期においても新型コロナウイルス感染症やウッドショックの影響下にあるものの、木材輸出は、主要3品目である丸太（48億円、前年同期比3.8%増）、製材・加工材（30億円、同43.1%増）、合板（23億円、同30.21%増）とも引き続き好調に推移している。

第2 令和3年度に実施した事業

農林水産物・食品の輸出額は2025年までに2兆円、2030年までに5兆円という政府の輸出額目標が設定され、その目標の達成に向けて政府と各品目団体が一体として取り組むことが求められる中、当協会は日本産木材製品にかかる輸出促進の取りまとめ団体として、木材産地・事業者及び関連業界団体・機関とタイアップして、令和3年度は以下の事業に取り組んだ。

1. 高付加価値木材製品輸出促進事業

付加価値の高い木材製品の輸出促進を図るため、林野庁補助事業として、（1）企業連携型木材製品輸出促進モデル事業、（2）日本産木材・木材製品の普及・PR事業、（3）アジア向け高耐久木材の輸出環境調査事業、（4）国内外における木造技術講習事業を実施した。

（1）企業連携型木材製品輸出促進モデル事業

同業種・異業種や地域内・外など複数の企業が水平・垂直に連携した、波及効果

の高いモデル的な木材製品輸出の取組について、令和3年5月10日から6月15日まで本事業の公募を行い、12件の応募があったところ、「企業連携型木材製品輸出促進モデル選定委員会」において、「審査選定基準」に基づく審査を経て、「企業連携型輸出促進モデル事業」として以下の8件を採択した。

採択した企業連携型輸出促進モデル事業の概要

取組事業名	実施グループ（中核企業）
アフリカ向け製材品の販促プロモーション活動 ・ テスト販促及びニーズ調査 ・ アフリカ向け販促プロモーション	アフリカでの日本産材の展開を調査・推進する企業連携 （佐伯広域森林組合）
米国向け日本産木材を用いたタイニーハウスキットの輸出取組 ・ 現地規格等の適合性確認 ・ タイニーハウスキットの試作と展示	KOMINKA COLLECTIVE （株式会社戸田工務店）
フランス向け商品開発及び商談活動 ・ 試作品の製作 ・ 販売活動（現地のテスト販促、サイト掲載） ・ 現地での商談活動	彫刻技術とフランス人デザイナーとのコラボから新たな木工製品を開発する会 （株式会社岡本銘木店）
フラン樹脂加工木材の輸出取組活動 ・ スペインでの展示会活動 ・ 輸出環境整備調査	フラン樹脂化処理木材輸出促進グループ （ニッポニア木材株式会社）
中国における耐久性木材のブランディング活動 ・ 耐久性木材等利用表彰及びPR活動 ・ 耐久性木材利用促進セミナー及び見学会の開催	高付加価値木材製品を使用した設計事務所の表彰を企画するグループ （越井木材工業株式会社）
アジア向け製材品等輸出取組の強化 ・ 海外バイヤー向けウェブサイト機能追加 ・ 輸出向け情報収集	愛媛県産材製品市場開拓協議会
南アジア向け木造ペントハウスキットの開発と販促活動 ・ ペントハウスキットの試作 ・ 現地向け販促活動	南アジア向け木造ペントハウスの開発と販売活動（都築木材株式会社）

中国の幼児教育施設向け製品の輸出取組 ・ 製品の試作 ・ 現地展示会への出展・PR	Tree to Green (株式会社 Tree to Green)
---	---------------------------------------

上記のモデル事業の実施については、新型コロナウイルス感染症により、当初の実施計画が大きく影響を受けたため、各実施グループの実情やレベルに応じた多面的な支援を行い、事業目的の達成に努めた。

また、令和4年3月18日（金）に、本事業の取組成果の共有や波及効果を図るための成果報告会を開催したほか、「企業連携型木材製品輸出取組事例集」の印刷・製本・配布、当協会のウェブサイトにも各モデル的取組の実施報告の掲載による情報共有に努めた。

（２）日本産木材・木材製品の普及・PR 事業

新たな輸出先国の開拓に向けた木材製品の輸出促進活動、モデル住宅やモデルルーム等を活用したPR活動を以下のとおり実施した。

米国向け日本産木材製品利用促進セミナーの動画配信の実施結果

掲載先 ウェブサイト	(オンデマンド配信) ・ YouTube (Japan Wood-Products Export Association サイト) https://www.youtube.com/channel/UCUkeFf9slUEOpXhMBE0iS0w/featured ・ 国際木文化学会 (International Wood Culture Society) ウェブサイト http://www.iwcs.com/newsContent.cfm?id=109 ・ Woodculture.org ウェブサイト http://www.woodculture.org/content.cfm?id=535
掲載開始日	・ YouTube : 令和 3 年 9 月 16 日 ・ 国際木文化学会ウェブサイト : 令和 3 年 11 月 1 日 ・ Woodculture.org ウェブサイト : 令和 3 年 11 月 1 日
掲載内容	「エステックウッドの特性と利用事例」 (英題 : 「Special Features of S-Tech Wood」) 講師 : 前野 晋史 (江間忠木材株式会社) 「スギ・ヒノキの耐久性及び利用可能性」

	(英題:「Possibility to Utilize Sugi (Japanese cedar) and Hinoki (Japanese cypress) as Wooden Exterior Components」) 講師: 佐藤 雅俊氏 (東京大学 名誉教授) 「耐久性とデザイン性を兼ねた焼杉」 (英題:「DURABILITY AND DESIGN CHARRED SUGI SIDING FROM JAPAN YAKISUGI “SHOU SUGI BAN”」) 講師: ビル ビレック (中本造林株式会社) 「スギ・ヒノキ等を利用したサンフット等内装材の利用可能性と事例」 (英題:「SANFOOT Natural wood veneer wall covering」) 講師: プン マガー ローチャン (北三株式会社)								
ウェブサイト アクセス数	・YouTube (各講演の視聴者数: 3月31日まで) 上記①: 238回 上記②: 156回 上記③: 202回 上記④: 277回 ・国際木文化学会ウェブサイト (3月31日時点の集計結果) <table border="1"> <tr> <td>セッション数(当掲載ページにアクセスしたユーザー数)</td><td>316</td></tr> <tr> <td>ページビュー</td><td>1,008</td></tr> </table> ・Woodculture.org ウェブサイト (3月31日時点の集計結果) <table border="1"> <tr> <td>セッション数(当掲載ページにアクセスしたユーザー数)</td><td>1,110</td></tr> <tr> <td>ページビュー</td><td>3,531</td></tr> </table>	セッション数(当掲載ページにアクセスしたユーザー数)	316	ページビュー	1,008	セッション数(当掲載ページにアクセスしたユーザー数)	1,110	ページビュー	3,531
セッション数(当掲載ページにアクセスしたユーザー数)	316								
ページビュー	1,008								
セッション数(当掲載ページにアクセスしたユーザー数)	1,110								
ページビュー	3,531								

中国向け日本木材製品利用促進セミナー（上海）の開催結果

開催日時	令和3年7月12日(月) 現地時間 13:30-16:00
会場	(中国側) 木文化博物館三階1号会議室 (日本側) NATULUCK後楽園 会議室
開催形式	現地会場およびオンラインによる開催
Web 会議ツール	VooV Meeting
プログラム	開会挨拶 講演 - スギ・ヒノキの主要産地と特徴 李 培新 上海木材協会針葉樹専門委員会 秘書長 - 中国におけるヒノキ等の利用可能性

	石 玉生 山東省荷澤市鑫桐木業有限公司 副總經理 ・講名杉貴桧：スギ・ヒノキの利用 鞠 曉輝 中国木材株式会社 業務担当 ・製材の JAS 概要及び輸出向け仕様の協会規定 加藤 英雄 森林総合研究所 主任研究員 質疑および総括
参加者数	現地関係者等：(現地会場) 27 名、(オンライン参加) 62 名

中国向け日本木材製品利用促進セミナー（広州）の開催結果

開催日時	令和 3 年 12 月 10 日（金） 現地時間 15:30-17:00
会場	広州保利世貿博覧館 2 階 3 号館 会議エリア
プログラム	開会挨拶 講演 ・優れた日本産木材の利用キーワード～匠精神を徹底した設計、選材、製作、施工、メンテ 李 鷗 株式会社ウッド・リー 代表取締役 ・スギとヒノキの利用 鞠 曉輝 中国木材株式会社 貿易部輸出課 ・高耐久木質製品の設計及び利用 唐 天讓 越井木材工業株式会社中国市場開拓部 営業マネージャー 質疑応答
参加者数	現地関係者 54 名

韓国向け日本木材製品利用促進セミナーの開催結果

開催日時	令和 3 年 10 月 15 日 現地時間 13:30-17:00
会場	(韓国側) 大邱エクスコ 展示場内セミナー室 (日本側) 林友ビル 4F 会議室
開催形式	現地会場およびオンラインによる開催
Web 会議ツール	ZOOM Meeting
プログラム	開会挨拶 講演 ・軸組構造及びプレカットの概要 朴 右烈 ザ・ナイスコリア株式会社 開発営業部 本部長 ・美作材：ヒノキ材の品質及び利用技術

	河崎 弥生 (一社)岡山県木材組合連合会 技術アドバイザー ・天竜杉：スギ材の品質及び利用事例 長瀬 亘 静岡県農林技術研究所森林・林業研究センター 森林資源利用科 主任研究員 質疑および総括
参加者数	現地関係者：現地会場 41 名、オンライン参加 16 名
メーリング数	51,518 名

モデル住宅・モデルルーム見学会（山東・曹県）の開催結果

開催日時	令和 3 年 9 月 23 日（木） 現地時間 8:30-15:30
開催形式	リアル開催、および事後配信
会 場	曹县鑫桐木业有限公司（山東省曹县）
プログラム	あいさつ 上海木材協会針葉樹専門委員会 秘書長 李 培新 見学先の現地企業にて 挨拶・概要説明 ヒノキ・スギ製品及び関連工場の現場見学
参加者数	現地関係者 20 名

「和風建材見学会（中国・大連）」の開催結果

開催日時	令和 3 年 11 月 30 日（火） 現地時間 10:00-12:00
開催形式	オンラインによるライブ配信、および事後配信
会 場	大連木創空間設計有限公司（遼寧省大連市）
プログラム	見学体験・意見交換 あいさつ 闕 澤利 南京林業大学 教授 和風建材の製作及びモデルルームについての説明並びに Q&A 李 鵬 大連木創空間設計有限公司 総経理 見学体験・意見交換総合質疑 闕 教授、李 総経理
参加者数	開催時参加者数：オンライン参加 1,315 名 開催当日午後 9 時までの観覧者数：1,690 名

和室・茶室モデルルーム見学会（福建・アモイ）の開催結果

開催日時	令和 3 年 12 月 25 日（土） 現地時間 11:00-12:30
開催形式	オンラインによるライブ配信 + リアル開催、および事後配信

会 場	「閩南和室」(福建省アモイ市内)
プログラム	見学会開始の宣言 挨拶 日本木材輸出振興協会 協力企業の挨拶 姚 曉麗 アモイ和木居裝飾設計有限公司 総経理 モデルルームの説明、見学体験・意見交換 李 鷗 株式会社ウッド・リー 社長
参加者数	開催時参加者数：1,045名(うち、現地参加15名、オンライン参加1,030名)

プレカット工場及び部材見学会(韓国・釜山)の開催結果

開催日時	令和3年9月10日(金) 現地時間13:30-17:00
会 場	THE NICE KOREA CORPORATION (165, Shinhang8-ro, Jinhae-gu, changwon-si, Gyeongsangnamdo, Korea)
プログラム	あいさつ 日本木材輸出振興協会 プレカット工場の紹介 朴 右烈 THE NICE KOREA CORPORATION 開発営業部 本部長 プレカット加工、部材・製品の説明、軸組部材の組立体験 崔 チョルホ THE NICE KOREA CORPORATION 副工場長 総合質疑
参加者数	現地関係者：24名

(3) アジア向け高耐久木材の輸出環境調査事業

中国、台湾、ベトナムにおける防腐・防蟻処理木材等の規格・流通規制や市場動向に関する調査・検討を以下のとおり実施した。

- 有識者からなる下記検討委員会を設置し、中国・台湾・ベトナムの3ヶ国・地域向けの調査実施や課題分析に助言する同委員会3回開催した。

アジア向け高耐久木材の輸出環境調査検討委員会

氏名(敬称略)		所属・職名
委員長	有馬 孝禮	東京大学 名誉教授
委員	佐藤 雅俊	東京大学 名誉教授
	木口 実	日本大学 生物資源科学部 森林資源科学科 教授

	松永 浩史	(国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所 木材改質研究領域 木材保存研究室長木材改質研究領域 木材保存研究室長
	山口 秋生	日本木材防腐工業組合 技術委員長 防腐合板推進協議会 事務局長 越井木材工業株式会社 技術開発室 室長

○ 調査分析及び報告書の作成

アジア向け防腐・防蟻処理による高耐久木材輸出環境の視点から、中国・台湾・ベトナムの防腐・防蟻処理による高耐久木材関連情報や基礎データを収集・分析した。

また、現地調査による実態・動向の把握の代替活動として、中国、台湾の協力者による現地調査のほか、国内外関係有識者に対するヒアリングを行い現地の高耐久木材関連情報の収集・分析を行った。

収集した関連情報や基礎データ、現地調査やヒアリングにより把握した中国・台湾・ベトナムの防腐・防蟻処理による高耐久木材関連規格の現状、流通規制の状況、市場動向等の分析を行ったうえ、「アジア向け高耐久木材の輸出環境調査分析報告書」を取りまとめた。

○ 成果報告会の開催

前述の調査結果を取りまとめた報告書の印刷・配布、「アジア向け高耐久木材輸出環境調査検討委員会」での検討結果を本協会のウェブサイトに掲載するとともに、成果報告会を開催し、情報の提供・共有に努めた。

成果報告会（オンライン対応型）の開催

日時	令和4年3月22日（火）13:30 - 17:00
会場	TKP 飯田橋ビジネスセンター カンファレンスルーム（東京都新宿区）
プログラム	開会挨拶 来賓挨拶（菅野 泰治 林野庁林政部木材利用課 課長補佐） 成果報告（質疑応答含む） ○ 「中国における耐久性木材の状況と動向」 關 澤利 南京林業大学 教授 ○ 「台湾における耐久性木材の状況と動向」

	何 宏哲 台湾区合板製造輸出業同業公会 秘書長 ○ 「ベトナムにおける耐久性木材の状況と動向」 井田 篤雄 一般財団法人林業経済研究所 研究員 ○ 「中国向け高付加価値木材製品の輸出取組事例」 唐 天讓 越井木材工業株式会社 中国市場開拓部 営業担当
参加者数	32 名

(4) 国内外における木造技術講習事業
以下の通り実施した。

日本木造技術講習会（中国第1回）オンライン講習の開催結果

開催日時	令和3年9月27日（月）～28日（火）
日本側の会場	TKP 飯田橋ビジネスセンター ミーティングルーム 3E （新宿区下宮比町 3-2 飯田橋スクエアビル 3 階）
中国側の会場	中南林業科技大学 土木楼 501 会議室 湖南省長沙市韶山南路 498 号
Web 会議ツール	VooV Meeting
プログラム	◆ 9月27日（月）、1日目 ・ 主な軸材の特徴及び木造軸組構造の概要 青木 謙治（東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授） ・ 木は燃えるか ～火と木の関係を謎解く～ 伯耆原 智世（早稲田大学 創造理工学部建築学科 専任講師） ・ 主な外壁材の特徴と利用 佐藤 雅俊（東京大学 名誉教授） ◆ 9月28日（火）、2日目 ・ 主な面材の特徴及び木構造の耐震設計の考え方 神谷 文夫（セイホク株式会社 技師長） ・ 木は腐りやすいか ～腐朽菌やシロアリへの対応～ 佐藤 雅俊（東京大学 名誉教授） ・ 日本の木&木構造の最前線 ～木を巡る研究、開発、利用の現状と近未来～ 青木 謙治（前出）

参加者数	現地関係者等 208 名（うちオンライン参加 78 名） 南京林業科技大学・中南林業科技大学・北京大学等の教職員 および学生、ならびに、木造建築、貿易・販売、認証機関・試験所の従事者
その他	・ アンケート回答者数：13 名 ・ 今回の講習会は役に立ったか：100% ・ 日本企業と商談する予定の参加者：4 割

日本木造技術講習会（中国第 2 回）オンライン講習の開催結果

開催日時	令和 3 年 10 月 28 日（木）～29 日（金）
日本側の会場	TKP 飯田橋ビジネスセンター ミーティングルーム 3E （新宿区下宮比町 3-2 飯田橋スクエアビル 3 階）
Web 会議ツール	VooV Meeting
プログラム	◆ 10 月 28 日（木）、1 日目 ・ JAS 制度の概要 大村 敏幸（独立行政法人 農林水産消費安全技術センター 規格検査部 商品調査課 主任調査官） ・ 製材、枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の JAS について 加藤 英雄（森林総合研究所 木材研究部門 構造利用研究領域材料接合研究室 主任研究員） ・ 集成材、単板積層材、直交集成板の JAS について 宮武 敦（森林総合研究所 木材研究部門複合材料研究領域 チーム長（集成加工担当）） ◆ 10 月 29 日（金）、2 日目 ・ 合板、構造用パネルの JAS について 神谷 文夫（前出） ・ 材料規格と建築基準等との関係について 神谷 文夫（前出）

参加者数	現地関係者等 75 名 南京林業科技大学・北華大学・西南林業大学等の教職員および学生、ならびに、木造建築、貿易・販売、認証機関・試験所の従事者
その他	・アンケート回答者数：33 名 ・今回の講習会は役に立ったか：94% ・日本企業と商談する予定の参加者：7 割

日本木造技術講習会（中国第 3 回）オンライン講習の開催結果

開催日時	令和 3 年 12 月 21 日（火）～22 日（水）
日本側の会場	TKP 飯田橋ビジネスセンター ミーティングルーム 3B （新宿区下宮比町 3-2 飯田橋スクエアビル 3 階）
中国側の会場	福建農林大学旗山校区 福建省福州市閩侯県溪源宮路 63 号
Web 会議ツール	VooV Meeting
プログラム	◆ 12 月 21 日（火）、1 日目 ・スギ等製材の強度性能及び利用 加藤 英雄（前出） ・スギ等集成材と CLT の強度及び利用 宮武 敦（前出） ・スギ等合板の特徴及び利用 神谷 文夫（前出） ◆ 12 月 22 日（水）、2 日目 ・スギ等木材の耐久性能 桃原 郁夫（森林総合研究所 関西支所長） ・スギ等木材の健康増進効果 恒次 祐子（東京大学大学院農学生命科学研究科 教授） ・中大規模建築物におけるスギ等木材の利用 神谷 文夫（前出）

参加者数	現地関係者等 177 名（うちオンライン参加 107 名） 福建農林大学等の教職員および学生、ならびに、木造建築、貿易・販売、認証機関・試験所の従事者
その他	・アンケート回答者数：48 名 ・今回の講習会は役に立ったか：100% ・日本企業と商談する予定の参加者：7 割

日本木造技術講習会（韓国第 1 回）オンライン講習の開催結果

開催日時	令和 3 年 10 月 14 日（木）
日本側の会場	林友ビル 6 階中会議室（東京都文京区後楽 1-7-12）
Web 会議ツール	Zoom（ズーム）
プログラム	◆ 講義 ・主な軸材の特徴及び木造軸組構造の概要 青木 謙治（前出） ・主な面材の特徴及び木構造の耐震設計の考え方 神谷 文夫（前出） ・木造軸組構法の施工手順と主要工事の要点 朴 右烈（ザ・ナイスコリア株式会社 開発営業部 本部長）
参加者数	現地関係者等 44 名 木造建築、貿易・販売、研究教育機関、行政の従事者
その他	・アンケート回答者数：21 名 ・今回の講習会は役に立ったか：95% ・どのような情報を得るために講習会に参加したか： - 日本産木材を用いた木造軸組構法の概要 15% - 木造軸組構法で利用される日本産木材の材料の特徴や種類 16% - 日本産木材による軸組構法の施工方法や工期 15% - 木構造の耐震設計・性能 25% - 日本の木造軸組構造の金物工法 29% ・日本企業と商談する予定の参加者：2 割

日本木造技術講習会（韓国第2回）オンライン講習の開催結果

開催日時	令和3年11月17日（水）
日本側の会場	TKP 飯田橋ビジネスセンター ミーティングルーム 3E （新宿区下宮比町 3-2 飯田橋スクエアビル 3 階）
Web 会議ツール	Zoom（ズーム）
プログラム	◆ 講義 ・ 木造軸組構造の概要 青木 謙治（前出） ・ 日本の中層・大規模木造建築 神谷 文夫（前出） ・ 木造軸組構造の接合と接合金物 飯島 敏夫（日本住宅・木材技術センター 参与兼認証部長）
参加者数	現地関係者等 40 名 木造建築、貿易・販売、研究教育機関の従事者
その他	・ アンケート回答者数：17 名 ・ 今回の講習会は役に立ったか：94% ・ どのような情報を得るために講習会に参加したか： 日本産木材を用いた木造軸組構法の概要 19% 木造軸組構法で利用される特徴や種類 10% 軸組構法の施工方法や工期 15% 木構造の耐震設計・性能 24% 日本の木造軸組構法の金物工法 32% ・ 日本企業と商談する予定の参加者：2 割

国内での「日本木造技術研修会」の開催結果

開催日時	令和3年6月29日（火）
講演会場	市川日本語学院（千葉県市川市南八幡 5-10-5）

プログラム	【午前】 開講式、参加者自己紹介 ◆ 講義 ・木について知っておきたいこと ～樹種、特性、耐朽性～ 岡野 健 先生（東京大学 名誉教授） ・木は腐りやすいか ～腐朽菌やシロアリへの対応を語る～ 佐藤 雅俊 先生（前出） ・木は燃えるか ～火と木の関係を謎解く～ 安井 昇（桜設計集団一級建築士事務所 代表、一級建築士） 【午後】 木の博物館「木力館（埼玉県さいたま市岩槻区新方須賀 558-2）」にて伝統工法による家づくりや木造部材について現場研修
参加者数	留学生等 26 名
その他	・アンケート回答者数：21 名（回答率 81%） ・今回の研修会について、全体を通して満足している：95%

2. 高付加価値木材輸出促進緊急対策事業

令和2年度林野庁補助事業（補正）として、以下の通り実施した。

（1）展示会へのジャパンパビリオンの出展による販路開拓

以下の各展示会に「ジャパンパビリオン」を設置し、国産材輸出に取り組む事業者や現地協力者と連携して、スギやヒノキを使用した品質・付加価値の高い木材製品、住宅部材等の出展・PR活動、出展後の商談活動への支援、出展効果追跡調査、開催先国の関係者からの相談への対応、出展関連情報の共有・提供などのフォローアップ活動を行った。

「2021 国際緑色建材（上海）博覧会」（中国・上海）の出展結果

開催	主催者	中国国際貿易促進委員会建設行業分会、上海市建築材料行業協会、上海東浩蘭生会展（集团）有限公司
----	-----	--

概要	会場	上海新国際博覧中心（上海浦東新区龍陽路 2345 号）	
	会期	令和 3 年 7 月 14 日（水）～ 7 月 16 日（金）	
	出展物	建築建材、住宅設備機器、家具、インテリア用品等	
	その他	・ 展示面積：3 万 m² 超 ・ 出展者：472 社（国内 450 社、海外 22 社） ・ 来場者数：31,223 名	
出展状況	出展参加者	6 社	
		・ 丸武木材株式会社	・ 越井木材工業株式会社
		・ 株式会社ウッド・リー	・ 中国木材株式会社
		・ ワールドアークス株式会社 桐木業有限公司	・ 愛媛県産材製品市場開拓協議会
	出展内容	・ 木造軸組構法及び家具製品 ・ 高耐久性外装木材 ・ 木造建築（茶室） ・ スギ、ヒノキの内装材と集成ブロック、 ・ ヒノキ内装材 ・ 木造軸組建築、ヒノキ構造材・内装材、CLT	
	出展面積	225 m ² （25 標準コマ）	
出展結果	出展・PR 関係	・ パビリオンの来場者：5,490 名（実績値 以下同じ） ・ カタログ配布数：1445 部 本協会配布 7,500 部 ・ サンプル配布数：出展企業配布 61 個、本協会配布 120 個 ・ 名刺交換：921 枚 ・ カラー広告の掲載：1 式（博覧会の「出展会刊（会報）」） ・ 動画の上映（全会期）	
	商談結果	出展中： ・ 商談件数：710 ・ 確実な商談件数：60 ・ 今後継続商談件数：30 出展後（追跡調査に応じた出展企業に対するアンケート結果、令和 3 年 2 月 28 日まで）： ・ 成約件数：21（うち、成約見込件数 10） ・ 成約金額：2,070 万円（うち、成約見込金額 1,200 万円）	

		・ 今後継続商談件数：22
--	--	---------------

「2021 第 16 回広州設計週 設計選材博覧会」(中国) の出展結果

開催概要	主催者	広州市城博覧有限公司	
	会 場	広州保利世貿博覧館 (広州市新港東路 1000 号)	
	会 期	令和 3 年 12 月 9 日 (火) ~12 月 12 日 (金)	
	出展物	建築建材、家具、インテリア用品、小物、ダイニング、ギフト商品等	
	その他	・ 展示面積：18 万 m² ・ 来場者数：延べ 450,000 名	
出展状況	出展参加者	6 社	
		株式会社ウッド・リー	越井木材工業株式会社
		丸武木材株式会社	ワールドアークス株式会社
		愛媛県産材製品市場開拓協議会	中国木材株式会社
出展状況	出展内容	・ 木造軸組構法及び家具製品 ・ 高耐久性外装木材 ・ 木造建築 (茶室)、建具等 ・ スギ、ヒノキの内装材と集成材・構造材ブロック ・ ヒノキ内装材 ・ 木造軸組建築、ヒノキ構造材・内装材、CLT 等	
	出展面積	264 m ² (標準コマで 29 コマ相当)	
出展結果	出展・PR 関係	・ パビリオンの来場者：16,950 名 ・ カタログ配布数：出展企業配布 4,410 部、本協会配布 850 部 ・ サンプル配布数：出展企業配布 127 個、本協会配布 120 個 ・ 名刺交換：605 枚 ・ 来場者の相談対応 ・ 大型会場広告の制作、設置：1 式 ・ 動画の上映 (全会期)	
	商談結果	出展中： ・ 商談件数：2,475 ・ 確実な商談件数：60 ・ 今後継続商談件数：30 出展後 (追跡調査に応じた出展企業に対するアンケート結果、令和 3 年	

		2月28日まで) : ・ 成約件数：30（うち、成約見込件数 13） ・ 成約金額：1,680 万円（うち、成約見込金額 600 万円） ・ 今後継続商談件数：21
--	--	---

「2021KYUNGHYANG HOUSING FAIR」（韓国）の出席結果

開催概要	主催者	MESSE ESANG Co., Ltd	
	会 場	SETEC 3104 Nambusoonghwanro (514 Daechi-dong) Gangnam-gu Seoul Korea	
	会 期	令和3年11月25日（木）～ 11月28日（日）	
	出展物	建築建材、住宅設備機器、家具、インテリア用品等	
	その他	・ 出展者：251 社 ・ 来場者数：延べ 40,606 名	
出展状況	展示参加者	6 社	
		矢島木材乾燥株式会社	愛媛県産材製品市場開拓協議会
		ワールドアークス株式会社	岡山県産材販路推進協議会
		Pyeonbaekmari co., ltd	日本木材輸出振興協会
出展状況	出展内容	・ ヒノキ複合フローリング焼杉外壁材 ・ スギ、ヒノキ内装材 ・ CLT 模型、建物ミニチュア、写真パネル ・ ヒノキ家具 ほか	
	出展面積	144 m ² （標準コマで 16 コマ相当）	
出展結果	出展・PR 関係	・ 来場者：1,600 名 ・ カタログ配布数：出展企業配布 2030 部、本協会配布 5824 部 ・ サンプル配布数：出展企業配布 2 個、本協会配布 200 個 ・ 出展関連記事の掲載：1 式 ・ 動画の上映（全会期） ・ 来場者の相談対応	
	商談結果	出展中： ・ 商談件数：160 ・ 今後継続商談件数：113	

	商談結果	出展中： ・ 商談件数：296 ・ 確実な商談件数：3 ・ 今後継続商談件数：47 出展後（追跡調査に応じた出展企業に対するアンケート結果、令和4年2月28まで）： ・ 成約件数：0（うち、成約見込件数0） ・ 成約金額：0万円（うち、成約見込金額0万円） ・ 今後継続商談件数：8件
--	------	--

（２）米国向けバーチャル展示会の開催

米国向けバーチャル展示会ウェブサイトJ-WISHの企画、構成、制作会社選定、制作会社との打合せ、テスト運営、出展者の公募といったサイト制作及び出展関係の諸調整や事前準備を実施し、国産材輸出に取り組む事業者等と連携して、スギ、ヒノキ、カラマツ等日本産木材を使用した品質・付加価値の高い木材製品、住宅部材等をウェブ上で出展し、日本産木材製品の認知度の向上や商機作りに取り組んだ。

（３）「ジャパンウッドステーション」を活用した販売促進活動

令和3年4月13日から令和4年3月14日まで以下のとおり実施した。

活動項目	目標	実績	
		ジャパンウッドステーション・ホーチミン	ジャパンウッドステーション・台北
来訪者への対応、展示製品等の説明	350名以上	875名	6,926名
現地業者への訪問 販促（現地の関係業者を訪問し、展示製品等の紹介や意見交換）	50社以上	88社 （コロナ禍で、電話、SNS等による展示製品の紹介や意見交換を含む）	51社
ベトナム、台湾関	30件	41社	30社

係業者等向けの相談、仲介活動	以上	成約件数：5 件 成約金額：915 万円	
その他 協力活動		・ ベトビルド Home 出展 ・ 日越オンライン木材商談会 ・ Japan Wood Gallery 現地施工 ・ Japan Wood Gallery 見学会	・ 日台木材商談会（2 回） ・ 台湾向け日本木材製品利用セミナー ・ 台北国際建材家具大展出展 ・ 台北建材展出展

（４）「Japan Wood Gallery」の設置を通じたプロモーション活動

山東省濰坊市奎文区内、「歌爾緑城桂花園」マンション団内 1 室を木質内装化した。その後、コロナ禍のため、予定していた現場見学会を開催できなくなったことから、代替活動として木質化したマンションを紹介する動画を作成し、下記サイトに掲載ならびに配信した。

また、ベトナム向けは、スギ造作材約 80 枚、ヒノキ内装材（羽目板等）約 260 枚、スギ内装材（天井板、スリッド、羽目板）約 360 枚を調達し、ベトナム、ビンズン省南部林業科学技術センター（SCAFTS）会議室を木質内装化した。また、ジャパンウッドステーション・ホーチミンの協力のもと、現地木材業界団体、企業等を招き、見学会を実施した。当該見学会は録画し、10 分程度に編集後、YouTube に掲載した。

（５）多様な広報媒体を通じたブランディング

中国、台湾、韓国、米国の木材・建材、内装材、家具・建具、輸入、卸小売、設計、建築関係者等の視点から、カラー広告、企画記事、を現地の専門誌にそれぞれ掲載した。また、日本産スギ、ヒノキの製品の良さ、利用方法、利用事例等をアピールする動画を制作し、掲載、配信した。

（６）マッチング商談会のオンライン開催

新型コロナウイルス感染の影響により渡航ができなため、中国、台湾、韓国の木材業界バイヤーとオンラインで商談会を実施した。

日中木材製品商談会（中国山東省曹県）の開催結果

開催日時	令和 3 年 9 月 24 日（金）10：00～17：00
------	-------------------------------

開催方法	ハイブリット開催（現地対面形式及びオンライン商談）	
参加企業	日本側企業：5社 中国側企業：10社	
	日本側企業	中国側企業
	株式会社ハノ商店（オンライン）	江蘇森工国際貿易有限公司
	中国木材株式会社（対面形式）	江蘇同順進出口貿易有限公司
	ヤマエ久野株式会社（オンライン）	上海森遠木業有限公司
	越井木材工業株式会社（対面形式）	徳魯克環境科技（蘇州）有限公司
	株式会社ウッド・リー（対面形式）	木財通（青島）科技有限公司
		東莞市長能建材有限公司/広東省東莞市長恒木業
		東莞市鼎正木業有限公司
		上海蒲恵工貿有限公司
		浙江裕華木業有限公司
		上海歩増木業発展有限公司
	延べ商談回数：29	
商談結果	（商談結果）商談件数：29 成約件数：5（見込み含む） 今後継続商談件数：11 商談後（追跡調査に応じた出展企業に対するアンケート結果、令和4年2月28日まで）： 成約件数：4件（見込み含む）、成約金額：864万円（見込み含む）、今後継続商談件数：2件	

日韓オンライン木材製品商談会（東京）の開催結果

開催日時	令和3年12月15日（水）10：30～15：00	
開催方法	オンライン開催	
参加企業	日本側企業：4社 韓国側企業：6社	
	日本側企業	韓国側企業
	株式会社サンテック	CHAEWOORIM
	中国木材株式会社	Dreamy Carpenter
	株式会社ハノ商店	Green Timberland HK Limited
	ヤマエ久野株式会社	Pyeonbaekmari Co., LTD
		WOOCHAM CO., LTD
		WOODINEL CO., LTD

	延べ商談回数：13
商談結果	(商談結果) 商談件数：13 成約件数：0 今後継続商談件数：8 成約額 0 円 商談後(追跡調査に応じた出展企業に対するアンケート結果、令和4年2月28日まで)： 今後継続商談件数：3 件

日台オンライン木材製品商談会（東京）の開催結果

開催日時	令和3年10月20日（水）14：00～17：10	
開催方法	オンライン開催	
参加企業	日本側企業：7社 台湾側企業：5社	
	日本側	台湾側
	中国木材株式会社	聯美林業股份有限公司
	東邦木材株式会社	益材木業有限公司
	肥後木材株式会社	茂森木業股份有限公司
	丸美産業株式会社	蔚麗家具有限公司
	ナイス株式会社	原益企業有限公司
	越井木材工業株式会社	
	ヤマエ久野株式会社	
	延べ商談回数：9	
商談結果	(商談結果) 商談件数：9 成約件数：1 今後継続商談件数：9 商談後(追跡調査に応じた出展企業に対するアンケート結果、令和4年2月28日まで)： 成約件数：5 件（見込含む） 成約金額：350 万円（見込含む） 今後継続商談件数：5 件	

（7）EC 支援サイトの構築による商談支援活動

ビジネス商談支援ウェブサイトJWELの企画、構成、制作会社選定、制作会社との打合せ、テスト運営、出展者の公募といったサイト制作及び出展関係の諸調整や事前準備を実施し、国産材輸出に取り組む事業者等と連携して、スギ、ヒノキ、カラマツ等日本産木材を使用した品質・付加価値の高い木材製品、住宅部材等をウェブ上に掲載し、日本産木材製品の認知度の向上や商機作りに取り組んだ。

3. 日本産農林水産物・食品海外販路開拓緊急支援事業

令和2年度農林水産省補助事業（補正、繰越）として、設計プランに基づき、構造モデルの組立・構築に必要となる以下の建築部材等を調達・加工し、中国山東省にある施工予定先の現場に令和4年2月下旬輸出・搬送した。

また、軸組構造モデルの施工・監理と技術指導、日本産木材製品・木造技術現場見学会の代替活動として日本産木材製品・木造技術現場の状況等に関する動画の撮影、編集、配信を行うとともに、以下のとおり説明会、販売促進活動を行った。

日本産木材製品並びに中大規模木造建築技術説明会の開催結果

開催日時	令和3年12月1日（水） 現地時間 14:30～16:30
日本側会場	TKP 飯田橋ビジネスセンター 東京都新宿区下宮比町 3-2 飯田橋スクエアビル 3 階
開催方法	オンライン開催
Web 会議ツール	VooV Meeting
プログラム	開会挨拶 技術および製品説明 I. 日本中大規模木造建築と技術の現状および動向 下山 順 ポラテック株式会社 非住宅推進課 課長 II. PIK-M 木構造システムの概要と特徴 杉目 勝也 B X カネシン株式会社 営業本部 営業本部長 III. 木造プレカットシステムおよび設計例 王 徳方 大連北極星科技有限公司 生産2課課長務担当 質疑および総括
参加者数	32 名

日中木構造及び内外装材商談会（オンライン）1 回目の開催結果

開催日時	令和3年11月18日（木）日本時間 10:00～15:25	
開催方法	オンライン開催	
参加企業	日本側企業：4 社 中国側企業：9 社	
	日本側	中国側
	丸武木材株式会社	福州小米木屋建设工程有限公司
	株式会社ハノ商店	厦門木本木業有限公司

	中国木材株式会社	臻藏時光（清豐）木制技術有限公司
	越井木材工業株式会社	上海孜拓実業発展有限公司
		唐山市室内裝飾協会
		上海蒂威建築科技有限公司
		福建御林企業
		澳莆（上海）環保科技有限公司
		広西西南連盟木材産業有限公司
	延べ商談回数：31 回	
商談結果	（商談結果）成約件数：0 件 今後継続商談件数：8 件 商談後（追跡調査に応じた出展企業に対するアンケート結果、令和 4 年 2 月 28 日まで）：成約件数：2 件（見込件数：3 件）、成約金額：約 1,552 万円（見込額：約 380 万円） 今後継続商談件数：5 件	

日中木構造及び内外装材商談会（オンライン）2 回目の開催結果

開催日時	令和 4 年 1 月 18 日（火）日本時間 10：45～16：10	
開催方法	オンライン開催	
参加企業	日本側企業：4 社 中国側企業：7 社	
	日本側	中国側
	丸武木材株式会社	上海順展木業有限公司
	越井木材工業株式会社	北新国際木業有限公司
	ナイス株式会社	京東集団下京東国際
	中国木材株式会社	江蘇同順輸出入貿易有限公司
		上海森聯木業発展有限公司
		深圳市中鑫泰建材有限公司
		東莞市鼎正木業有限公司
	延べ商談回数：18 回	
商談結果	（商談結果）成約件数：6 件 今後継続商談件数：10 件 商談後（追跡調査に応じた出展企業に対するアンケート結果、令和 4 年 2 月 28 日まで）：成約件数：0 件（見込件数：3 件） 成約見込額：約 2,080 万円 今後継続商談件数：5 件	

4. 分野・テーマ別海外販路開拓支援事業

農林水産省補助事業として、「日本木材製品展（山東）」への出展・PR、台湾「2021 第 33 回台北国際建築建材及び産品展」への出展・PR、ドバイ「Gifts & Lifestyle 2021」への出展による PR、台湾における日本木材製品利用促進セミナーの開催、中国向け「木造軸組構造施工技術図集」の作成、台湾におけるマッチング商談会の開催を行った。

5. 分野・テーマ別の海外販路開拓等への支援強化事業

農林水産省補助事業（補正）として、フランス「MAISON&OBJET PARIS 2021」、ベトナム「VIETBUILD HCMC 2021-PHASE III」への出展による PR、ベトナムにおける日本木材製品利用促進セミナーの開催、ベトナムにおけるマッチング商談会の開催を行った。

6. 輸出先国の規格・基準等に対応した技術開発等支援事業（令和2年度林野庁補正予算）

付加価値の高い木材製品の輸出拡大のため、輸出先国のニーズや規格・基準等に対応した製品開発や性能試験・実証を行う取組を支援した。

本事業の公募では12件の応募があり、有識者・木材関連団体等からなる検討委員会での審査により以下の8件を採択した。

No.	応募者名	事業名	対象国
1	有限会社和建築設計事務所、征矢野建材株式会社	海外建築物等における日本産無垢木内装材使用のために必要な火災安全性理化学的エビデンス検証	米国
2	株式会社ウッド・リー	中国のニーズ等に適した和モダン茶室キットの設計開発	中国
3	ライフデザイン・カバヤ株式会社	ベトナム向け木造戸建住宅の設計開発	ベトナム
4	都築木材株式会社	韓国向け木造小屋キットの設計開発	韓国
5	BX カネシン株式会社	中国対応型国産材接合性能の実証と標準化	中国
6	一般社団法人全国木材検査・研究協会	米国の基準等に基づくスギ・ヒノキ構造材の品質評価にむけた技術的取組	米国
7	越井木材工業株式会社	中国の基準に基づくスギ、ヒノキ熱処理木材の性能実証	中国
8	株式会社赤井製材所	北米におけるスギ無垢大断面構造材の利用に向けた性能実証	北米

採択された事業の実施については、新型コロナウイルスの影響は大きかったが、Zoom等の活用により各実施者とも事業計画の達成に努めた。

3月16日には、事業内容と成果等を広く普及するため、成果報告会をWebにより開催し、さらに、成果報告会の発表資料及び成果報告書は、当協会のホームページに掲載して、事業成果の普及を図った。

7. 岐阜県委託業務（県産材輸出オンライン商談会運営業務委託）

中国における県産材の販路拡大を図るための「中国における木材製品市場の研修会の開催」、「中国に向けたオンラインセミナーの開催」、「オンライン商談会の開催運営」といった委託業務を以下の通り実施した。

中国における木材製品市場の研修会の開催結果

開催日時	令和3年12月6日（月）13:30～15:15
会 場	WEB会議による
プログラム	（第1部） 県産材輸出の取組みについて 中国に向けた木材製品輸出についての研修 内容：中国への木材輸出の現状と課題について 講師：一般社団法人 日本木材輸出振興協会 業務部長 趙 川 （第2部） オンライン商談会に関心がある受講者に対して個別相談 個別相談① 飛騨フォレスト株式会社 個別相談② 株式会社 meet tree 個別相談③ 桑原木材株式会社 個別相談④ 飛騨産業株式会社 個別相談⑤ 丸武木材株式会社
参加者数	第1部：19名 第2部：5名

中国に向けたオンラインセミナーの開催結果

開催日時	令和4年1月12日（水） 日本時間 14:00～17:30
会議ツール	VooV Meeting
プログラム	・挨拶 - 岐阜県 林政部 県産材流通課長 伊藤 修宏 ・中国における岐阜県産ヒノキ製品等のビジネスチャンス - 上海木材協会針葉樹専門委員会 秘書長 李 培新 ・企業 PR および製品説明

	① 東濃松の内装実例 桑原木材株式会社 木材事業部 貿易海外販売グループ 楊 嘉穎 ② 岐阜県の家具産業 飛騨産業株式会社 海外事業部 劉 中哲 ③ ひのきが香る「ひのき枕」 飛騨フォレスト株式会社 事業企画部部長 山下 陽介 ④ 中国向け日本産木材紹介と今後の木材利用 丸武木材株式会社 代表取締役 長尾 基武 ⑤ 木曽ヒノキの上質な精油を配合したコスメ 株式会社 meet tree 代表取締役 丸山 大知 ・ 総合質疑
参加者数	現地関係者 34 名（申込者数 43 名）

オンライン商談会の開催結果

開催日時	令和 4 年 2 月 22 日（火） 日本時間 10:00～17:40
開催方法	オンライン開催
参加企業	●日本側企業：4 社 ①丸武木材株式会社 ②飛騨フォレスト株式会社 ③飛騨産業 ④桑原木材株式会社 ●中国側企業：11 社 ①如皋冠傑工貿有限公司 ②上海蒲惠工貿有限公司 ③AAUA 亜洲城市与建築連盟木結構專業委員会・亜盟建築科技（広州）有限公司 ④東莞市鼎正木業有限公司 ⑤曹県鑫桐木業有限公司 ⑥上海孜拓実業発展有限公司 ⑦東盛商事株式会社 ⑧遼寧傑生活建材有限公司 ⑨江蘇惠優林集成建築科技有限公司

	⑩柿界（上海）実業有限公司 ⑪海柒（上海）网络科技有限公司
商談回数	26 回商談

8. 米国マーケット調査にかかる受託事業（秋田県令和3年度予算、秋田県木材産業協同組合連合会からの業務委託）

秋田県では森林資源が利用期を迎える中、国内では木材需要の将来的な減少が懸念され、新たな販売先として有望な海外において、販路の開拓が必要であることから、協会では、秋田県産製材品の有望な輸出先として考えられる米国を対象に、市場で流通している製材品の品目、流通ルート、利用実態等を調査し、秋田県企業が輸出に取り組むに当たっての判断材料となる情報を提供するための業務を受託した。

調査の実施にあたっては、輸出を手掛ける秋田県内の製材業者を訪問し意見交換を行うとともに（令和3年10月）、米国の現地調査では、潜在性が大きいと考えられるテキサス州ダラス及びその周辺において、商社関係者等へのヒアリング及びフェンス材やその他の製材品の利用実態を調査した（令和3年11月）。

以上の現地調査結果については、秋田県の製材業者等に対して、「製材輸出振興WEBセミナー」として以下の内容で報告した（令和4年1月27日）。

- ・我が国の木材輸出の動きについて（秋田県木材産業協同組合連合会）
- ・輸出に関する諸外国の状況について（一社日本木材輸出振興協会）
- ・米国市場について（同上）

さらに、米国への輸出拡大に向けた方向性を取りまとめ、「米国マーケット調査分析書」としてとりまとめた。

第3 総務に関する事項

1. 理事会について

第1回理事会

開催日：令和3年6月10日（書面審議による理事会）

議 事：

- (1) 令和2年度事業報告書（案）について
- (2) 令和2年度決算報告書（案）について
- (3) 理事及び監事候補者の推薦について
- (4) 定時総会の開催日時、場所、議題等について

報告事項

- (1) 令和3年度事業計画書及び収支予算書について
- (2) 会員の加入状況報告について

第2回理事会（書面審議による理事会）

開催日：令和3年6月28日

議 事：

- (1) 会長の選任について

第3回理事会（書面審議による理事会）

開催日：令和4年3月30日

議 事：

- (1) 令和4年度事業計画書（案）について
- (2) 令和4年度収支予算書（案）について

2. 定時総会について

開催日：令和3年6月28日

議 事：

- (1) 令和2年度事業報告について
- (2) 令和2年度決算報告について
- (3) 理事及び監事の選任について

報告事項

- (1) 令和3年度事業計画書及び収支予算書について
- (2) 会員の加入状況報告について